

嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練及び  
MC-130特殊作戦機等のパパーループへの駐機に抗議する意見書

米軍は嘉手納基地において、令和元年5月21日午後3時頃から6時頃にかけて5回にわたり、計16人の兵士がパラシュート降下訓練を強行し、嘉手納弾薬庫地区周辺から住民居住地上空を横切り滑走路西側に降り立った。当時、本町では最大瞬間風速約12メートルの北風が吹いており、一歩間違えれば重大な事故につながりかねず強い憤りを禁じ得ない。

パラシュート降下訓練は、日米特別行動委員会（SACO）の最終報告において、伊江島補助飛行場への移転合意があるにもかかわらず、今年に入り既に3度も嘉手納基地で実施されている。米軍は嘉手納基地での実施理由について、「伊江島の海象が優れず、伊江島補助飛行場での訓練が実施できない恐れがあることから、嘉手納で実施する必要がある」と回答している。このことは「パラシュート降下訓練の例外的措置」に関する日米合意の解釈を巡る問題が根本的な解決には至っていないことの証であり、日米両政府は同問題解決に向け早急に取り組むことを切望するものである。

また、嘉手納基地においては第353特殊作戦群駐機場等拡張整備工事に伴い、同基地北西に駐機していたMC-130特殊作戦機が今年2月頃から住民居住地に極めて近接した通称「パパーループ」に駐機し、エンジン調整等を行っている。早朝から夜遅くまで鳴り響く地上騒音に周辺住民の怒りは頂点に達しつつある。一時的とはいえパパーループへの駐機は、長年にわたり航空機騒音に悩まされてきた嘉手納町民に新たな基地負担を強いることは明白である。

ついでに、日米両政府は平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納基地の負担軽減を真に実現すべく、同型機の駐機場を住民居住地から離れた場所に移転させるなど有効な対策を早急に講じることを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練及びMC-130特殊作戦機等のパパーループへの駐機に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地において米軍パラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 日米合同委員会において確認された「パラシュート降下訓練の例外的措置」を撤廃すること。
- 3 住民居住地に近接しているパパーループにMC-130特殊作戦機等を駐機させないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年5月23日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官（沖縄基地負担軽減担当）  
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長  
沖縄県知事

嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練及び  
MC-130特殊作戦機等のパパーループへの駐機に抗議する決議

米軍は嘉手納基地において、令和元年5月21日午後3時頃から6時頃にかけて5回にわたり、計16人の兵士がパラシュート降下訓練を強行し、嘉手納弾薬庫地区周辺から住民居住地上空を横切り滑走路西側に降り立った。当時、本町では最大瞬間風速約12メートルの北風が吹いており、一歩間違えれば重大な事故につながりかねず強い憤りを禁じ得ない。

パラシュート降下訓練は、日米特別行動委員会(SACO)の最終報告において、伊江島補助飛行場への移転合意があるにもかかわらず、今年に入り既に3度も嘉手納基地で実施されている。米軍は嘉手納基地での実施理由について、「伊江島の海象が優れず、伊江島補助飛行場での訓練が実施できない恐れがあることから、嘉手納で実施する必要がある」と回答している。このことは「パラシュート降下訓練の例外的措置」に関する日米合意の解釈を巡る問題が根本的な解決には至っていないことの証であり、日米両政府は同問題解決に向け早急に取り組むことを切望するものである。

また、嘉手納基地においては第353特殊作戦群駐機場等拡張整備工事に伴い、同基地北西に駐機していたMC-130特殊作戦機が今年2月頃から住民居住地に極めて近接した通称「パパーループ」に駐機し、エンジン調整等を行っている。早朝から夜遅くまで鳴り響く地上騒音に周辺住民の怒りは頂点に達しつつある。一時的とはいえパパーループへの駐機は、長年にわたり航空機騒音に悩まされてきた嘉手納町民に新たな基地負担を強いることは明白である。

ついでに、日米両政府は平成18年の米軍再編ロードマップで合意された嘉手納基地の負担軽減を真に実現すべく、同型機の駐機場を住民居住地から離れた場所に移転させるなど有効な対策を早急に講じることを強く求める。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練及びMC-130特殊作戦機等のパパーループへの駐機に対し厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地において米軍パラシュート降下訓練を実施しないこと。
- 2 日米合同委員会において確認された「パラシュート降下訓練の例外的措置」を撤廃すること。
- 3 住民居住地に近接しているパパーループにMC-130特殊作戦機等を駐機させないこと。

以上、決議する。

令和元年5月23日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官  
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長